

DDS RF 信号発生装置



概要

この装置は従来電圧制御発信器のアナログ方式の周波数発生装置の温度依存解消のためデジタル方式の周波数発生装置（DDS）を採用しています。

周波数の変化は、周波数関数発生が容易な独立変数としたテーブルを用いています。

目的に応じて、書き込み可能な記憶装置にテーブルを書き込みこの記憶装置の方に切り替えることで操作します。

周波数の補正信号は、アナログ信号をデジタル信号に変換して、上記のプログラム周波数信号に重畳しています。

これらの操作は、パソコンを用いて制御できます。

仕様	
動作基準クロック	1 MHz
DDS出力	出力電圧 : 1 V p-p (50 Ω 負荷) 出力レベル誤差 : ±10%以下 高調波スプリアス : -30 dBc 以下 非高調波スプリアス : -40 dBc 以下 相対位相誤差許容範囲 : ±1 ns 設定周波数分解能 : 32 Bit (100 MHz / 232) / ステップ (約 0.0232 Hz) データ更新周期 : 1 μs ステップ 出力周波数範囲 基本波出力 : 2.25 MHz ~ 6.02 MHz 2倍波出力 : 4.5 MHz ~ 12.04 MHz 3倍波出力 : 6.75 MHz ~ 18.06 MHz 出力数 : 各周波数2出力 (フロント1 / リア1) コネクタ形状 : フロント=L EMO / リア=BNC
モニタDAC出力	出力電圧範囲 : 0 ~ +6.02 V 1 MHz / V (1 k Ω 負荷) 出力抵抗 : 100 Ω DAC分解能 : 16 Bit 出力LPFカットオフ周波数 : 1 kHz バタワース特性 12 dB / OCT 出力数 : 3出力 (フロント2 / リア1) コネクタ形状 : フロント=L EMO / リア=BNC
電源入力	AC 85 ~ 132 V 50 / 60 Hz
コンセント出力	フロントパネル 3極タイプ × 2
ホスト・インターフェース	RS-232C レベル / ストレート接続 × 1 (最大 115.2 kbps)

本仕様は品質、性能向上のため断りなく変更することがあります。



Electronic Equipment Engineering

株式会社 **三光社**

〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間 3854-1 テクノプラザ大和

TEL 046-278-3560 FAX 046-278-3565

HP : <http://www.sanko-sha.net>

販売元